

# わたしたちのマチの 景況レポート No. 11

2017年7~9月期実績・2017年10~12月期見通し



今日も 楽しい おつきあい  
 淡路信用金庫

  
おかげさまで創立80周年

## 調査概要

1. 調査対象期間：2017年7～9月期実績 2017年10～12月期見通し
2. 調査方法：営業店調査員による共通の調査表に基づく「聴取り」方法
3. 調査企業数：531企業（有効回答数524企業 回答率98.6%）  
※有効回答数のうち従業員20人未満の企業が占める割合は80.7%

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	地区合計
淡路地区	64	50	66	58	71	19	328
神明地区	65	25	15	28	43	20	196
業種合計	129	75	81	86	114	39	524

4. 分析方法：売上、収益、価格、人手不足、資金繰り、設備等の各質問項目について、D. I. (Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス) に基づき分析しております。

※D. I. とは経済全体または個別の経済事象について、その変化の方向とスピードをとらえるための指標で、景気動向調査に多く利用されております。

※D. I. = 「良い（増加）（上昇）」と回答した企業割合－「悪い（減少）（下降）」と回答した企業割合により算出し、不変部分を除き「増加」と回答した企業と「減少」と回答した企業のどちらの力が強いかを時系列的に並べる方法です。

5. 調査地区：淡路信用金庫の事業地区  
洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市
6. 特別調査：中小企業経営と地域との関わりについて



夏の大浜海水浴場



淡路島ロングライド150 (H29.9.18)

【業種別・地区別 天気図】

業種	全事業地区			淡路地区			神明地区		
	2017年 4~6月 (前期)	2017年 7~9月 (今期)	2017年 10~12月 (見通し)	2017年 4~6月 (前期)	2017年 7~9月 (今期)	2017年 10~12月 (見通し)	2017年 4~6月 (前期)	2017年 7~9月 (今期)	2017年 10~12月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

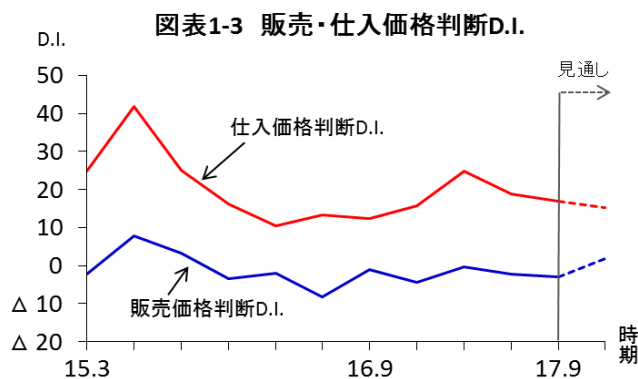
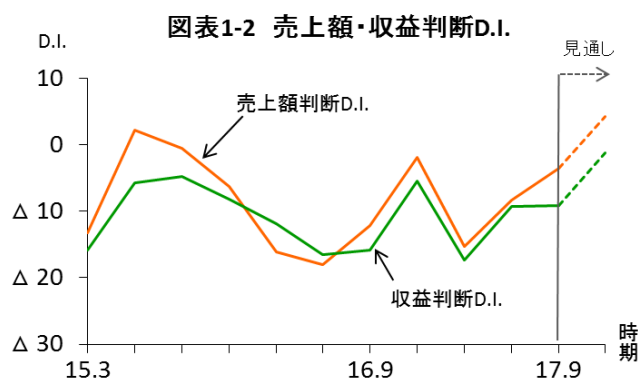
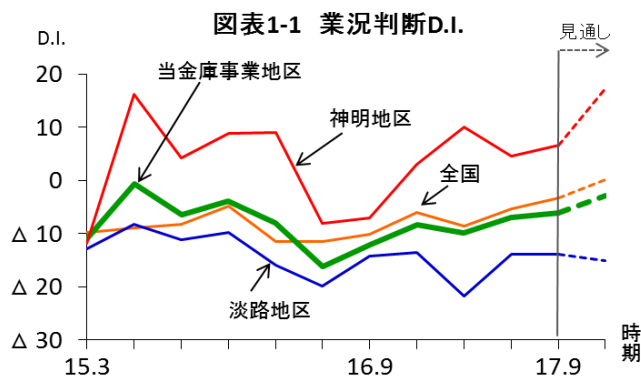


【業況判断 D. I. 時系列表】

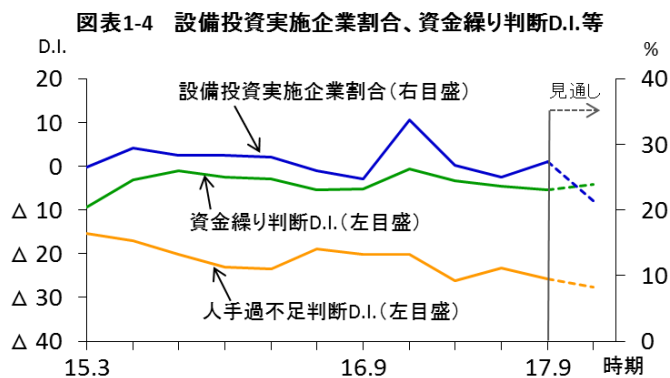
地区	業種	実績											見通し 2017年 12月期
		2015年 3月期	2015年 6月期	2015年 9月期	2015年 12月期	2016年 3月期	2016年 6月期	2016年 9月期	2016年 12月期	2017年 3月期	2017年 6月期	2017年 9月期	
全事業地区	総合	-10.8	-0.6	-6.4	-3.8	-8.0	-16.1	-12.1	-8.4	-9.8	-6.9	-6.1	-2.9
	製造業	-13.5	-5.6	-22.2	-1.4	1.4	-11.1	-11.3	-9.9	-6.3	-11.7	0.0	3.9
	卸売業	-34.7	4.3	-4.3	-10.6	-13.6	-26.7	-17.8	-9.1	-6.8	-8.1	-10.7	-13.3
	小売業	-23.9	-25.5	-31.9	-21.3	-25.0	-44.7	-29.8	-19.1	-20.9	-29.3	-22.2	-18.5
	サービス業	1.9	15.4	19.2	5.8	-18.0	-17.0	-1.9	-5.7	-19.3	1.1	-4.7	-5.8
	建設業	12.0	10.3	6.0	5.9	0.0	-1.5	-5.9	-3.0	0.0	2.7	-2.7	8.8
	不動産業	-6.5	-9.7	0.0	-9.7	3.3	0.0	-9.7	-3.3	-10.3	12.8	2.6	0.0
淡路地区	総合	-12.9	-8.3	-11.1	-9.7	-16.0	-19.8	-14.3	-13.6	-21.8	-13.8	-13.8	-15.0
	製造業	-25.0	-14.3	-18.6	-2.3	-14.0	-14.0	-7.0	-7.0	-30.2	-23.4	-15.6	-20.3
	卸売業	-24.2	0.0	0.0	-3.1	-10.0	-22.6	-9.7	-20.0	-18.4	-22.4	-14.0	-20.0
	小売業	-20.0	-31.7	-36.6	-29.3	-28.6	-46.3	-34.1	-19.5	-29.0	-34.3	-28.8	-27.3
	サービス業	5.1	15.4	15.4	-2.6	-16.7	-12.8	-2.6	-15.4	-27.1	3.4	-3.4	-6.9
	建設業	-2.3	-6.7	-15.9	-8.9	-11.4	-8.9	-20.0	-14.0	-7.0	-1.4	-7.1	-1.4
	不動産業	-11.1	-11.1	0.0	-11.1	-11.8	-11.1	-5.6	0.0	-15.8	15.8	-10.5	-15.8
神明地区	総合	-11.9	16.2	4.2	8.9	9.1	-8.0	-7.1	3.1	10.0	4.6	6.6	17.3
	製造業	3.3	-5.6	-27.6	0.0	24.1	-6.9	-17.9	-14.3	16.9	0.0	15.4	27.7
	卸売業	-56.3	14.3	-14.3	-26.7	-21.4	-35.7	-35.7	14.3	16.0	20.0	-4.0	0.0
	小売業	-50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0	-16.7	11.8	-6.7	6.7	20.0
	サービス業	-7.7	15.4	30.8	28.6	-21.4	-28.6	0.0	21.4	-3.4	-3.4	-7.1	-3.6
	建設業	39.1	43.5	47.8	34.8	21.7	13.0	21.7	17.4	11.4	9.3	4.7	25.6
	不動産業	0.0	-7.7	0.0	-7.7	23.1	15.4	-15.4	-8.3	-5.0	10.0	15.0	15.0

～業況は小幅改善し△6.1に  
来期はさらに3.2ポイント改善見通し～

- ・ 今期(17年7～9月期)の業況は△6.1と前期(17年4～6月期)比0.8ポイント改善した。来期(17年10～12月)も△2.9と3.2ポイント改善する見通し。地区別に見ると淡路は△13.8と横ばいで推移したが、神明では6.6と前期比2ポイント上昇した。来期も淡路では△15.0と1.2ポイント低下する見通しであるのに対し、神明では17.3と10ポイント超の上昇を見込んでいる。(図表1-1)
- ・ 売上額(前期比)は△3.6と前期比4.8ポイント改善するも、収益(前期比)は△9.2とほぼ横ばいで推移した。(図表1-2)
- ・ 販売価格は△2.9と前期比0.6ポイント低下、仕入価格も16.9と同2.0ポイント低下した。(図表1-3)  
※販売価格、仕入価格ともにポイント低下は価格「下落」を指す
- ・ 人手不足は△25.8(マイナスは人手不足「超」と前期比2.5ポイント低下し、さらに深刻化している。(図表1-4)
- ・ 資金繰り判断は△5.3と前期比0.7ポイント低下し、苦しさが増した。(図表1-4)
- ・ 設備投資実施企業割合は27.4%と前期比2.4ポイント増加した。(図表1-4)

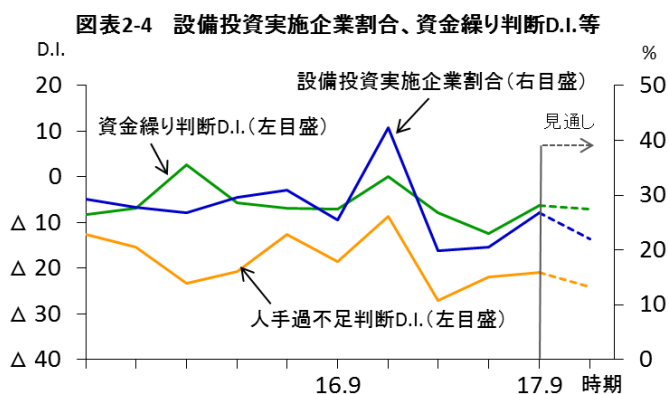
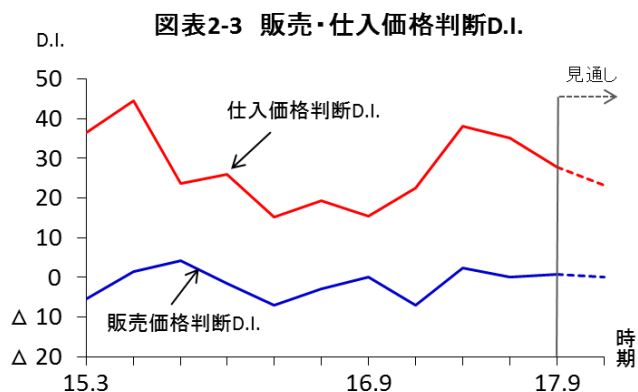
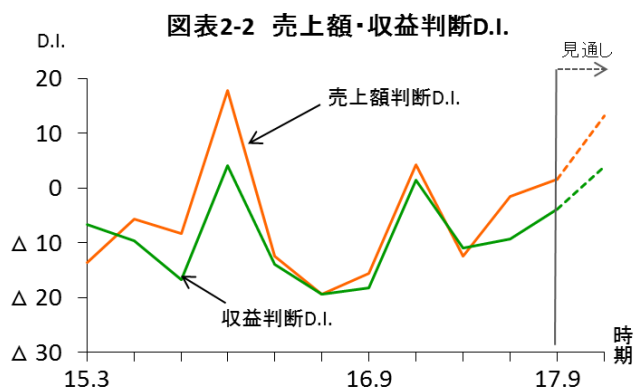
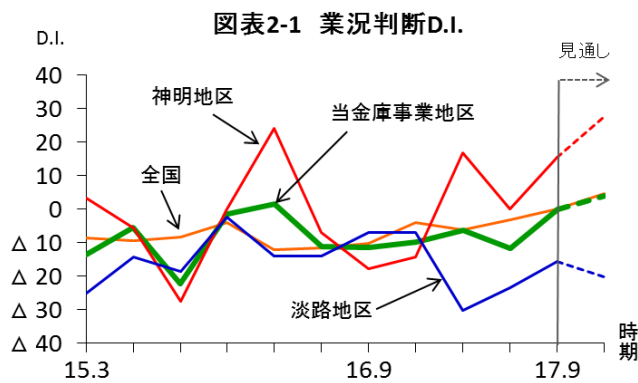


全業種	(D.I.)		
	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	-6.9	-6.1	-2.9
売上額(前期比)	-8.4	-3.6	4.2
売上額(前年同期比)	-10.7	-4.2	
収益(前期比)	-9.3	-9.2	-1.3
収益(前年同期比)	-14.1	-8.4	
販売価格(前期比)	-2.3	-2.9	1.9
仕入価格(前期比)	18.9	16.9	15.3
人手過不足(過剰-不足)	-23.3	-25.8	-27.6
資金繰り(楽-苦)	-4.6	-5.3	-4.2
設備投資実施企業割合(%)	25.0	27.4	21.4



～業況は 11.7 ポイント改善し 0.0 に  
来期はプラスに転じる見通しで全般に  
改善傾向にある～

- ・業況は 0.0 と前期比 11.7 ポイント改善した。来期はさらに 3.9 ポイント改善しプラスに転じる見通しである。地区別にみると、神明で 15.4 と同 15.4 ポイント上昇、淡路でも△15.6 とマイナスながらも同 7.8 ポイント改善した。(図表 2-1)
- ・売上額(前期比)は 1.6 と前期比 3.2 ポイント上昇、収益(前期比)も△3.9 と 5.4 ポイント改善した。(図表 2-2)
- ・販売価格は前期よりやや上昇し 0.8 となった。仕入価格においては前期比 7.3 ポイント低下し 27.9 と改善されてはきているが、依然として高止まりの状況にある。(図表 2-3)
- ・人手不足は△20.9 と前期比 1.0 ポイント改善し、僅かながら和らいだ。(図表 2-4)
- ・資金繰り判断は△6.2 と前期比 6.2 ポイント改善したが、依然マイナスであり、資金繰りを「苦」とする企業割合が多い状況が続いている。(図表 2-4)
- ・設備投資実施企業割合は 26.8%と前期比 6.3 ポイント上昇した。(図表 2-4)



製造業

(D.I.)

	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	-11.7	0.0	3.9
売上額(前期比)	-1.6	1.6	13.2
売上額(前年同期比)	-12.4	2.3	
収益(前期比)	-9.3	-3.9	3.9
収益(前年同期比)	-16.3	0.0	
販売価格(前期比)	0.0	0.8	0.0
仕入価格(前期比)	35.2	27.9	23.3
人手過不足(過剰-不足)	-21.9	-20.9	-24.0
資金繰り(楽-苦)	-12.4	-6.2	-7.0
設備投資実施企業割合(%)	20.5	26.8	22.0

○お客様の声

自社ブランド製品の売上が好調で、OEM比率も低下しており、売上・収益とも増加傾向にある。利益を設備投資に向け効率化を図り生産性向上を実現している。(洲本市)

販売単価の引上げを 8 月より実施しており、受注も前期並みに確保できる見込みから売上利益ともに増加していく見通しである。(神戸市)

～業況は 2.6 ポイント低下し、マイナス幅は  $\Delta 10.7$  にまで膨らんだ。来期もさらに低下し、厳しい状況が続く予想～

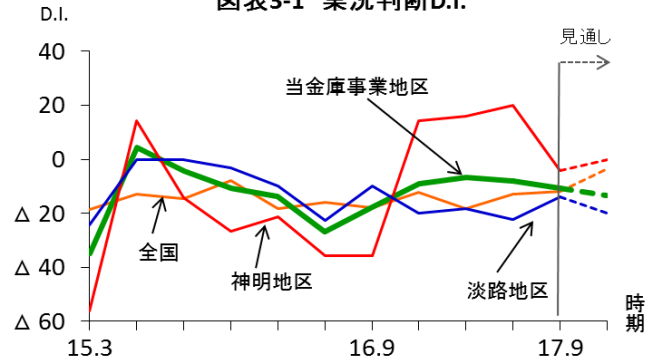
- ・業況は  $\Delta 10.7$  と前期比 2.6 ポイント低下し、前期に引き続きマイナス幅が膨らんだ。来期も 2.6 ポイント低下し  $\Delta 13.3$  となる見通しである。地区別では神明で  $\Delta 4.0$  と前期の 20.0 から大幅に低下しマイナスに転じた。(図表 3-1)
- ・売上額(前期比)は 0.0 と前期比 8.1 ポイント改善した一方で、収益(前期比)は  $\Delta 5.3$  と 6.7 ポイント低下しマイナスに転じた。
- ・販売価格は  $\Delta 5.3$  と前期比 1.5 ポイント改善したが仕入価格は 6.7 と同 4.0 ポイント上昇し、利幅は縮小した。(図表 3-3)
- ・人手不足は  $\Delta 13.3$  と前期比 8.3 ポイント和らいだ。(図表 3-4)
- ・資金繰り判断は 2.7 と前期比 4.1 ポイント悪化した。(図表 3-4)
- ・設備投資実施企業割合は 24.7% と前期比 0.8 ポイント増加した。(図表 3-4)

## 卸売業

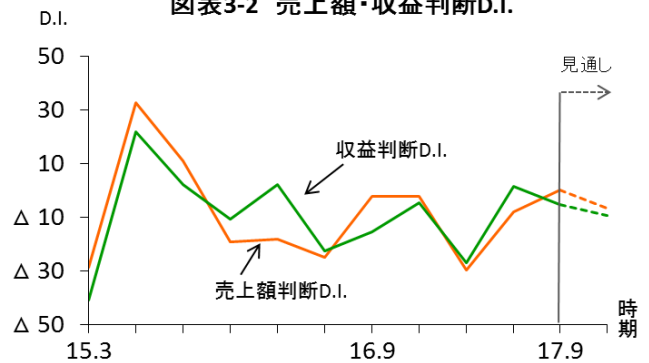
(D.I.)

	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	-8.1	-10.7	-13.3
売上額(前期比)	-8.1	0.0	-6.7
売上額(前年同期比)	-17.6	-12.0	
収益(前期比)	1.4	-5.3	-9.3
収益(前年同期比)	-14.9	-18.7	
販売価格(前期比)	-6.8	-5.3	-2.7
仕入価格(前期比)	2.7	6.7	0.0
人手過不足(過剰-不足)	-21.6	-13.3	-18.7
資金繰り(楽-苦)	6.8	2.7	6.7
設備投資実施企業割合(%)	23.9	24.7	15.3

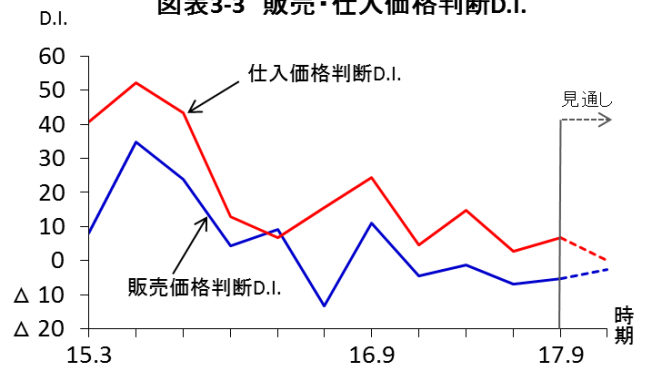
図表3-1 業況判断D.I.



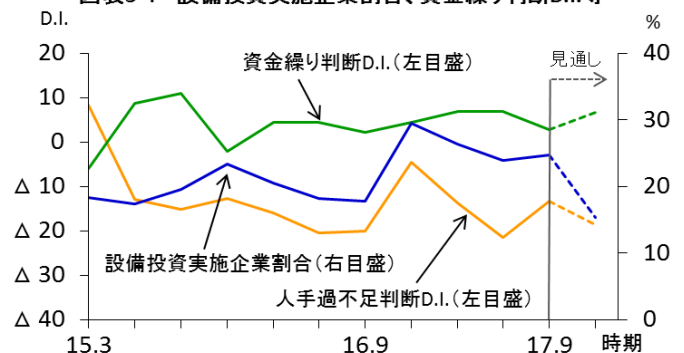
図表3-2 売上額・収益判断D.I.



図表3-3 販売・仕入価格判断D.I.



図表3-4 設備投資実施企業割合、資金繰り判断D.I.等



## ○お客様の声

地元企業として農業体験ツアーに協力するなどして積極的に地域貢献活動に取り組んでいる。地元農家等との関係構築に繋がり事業に好影響をもたらしている。(南あわじ市)

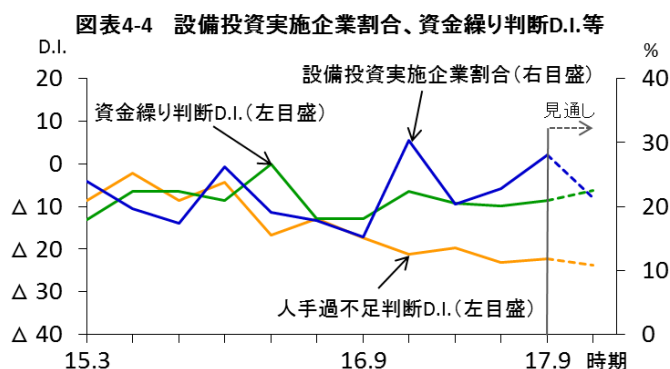
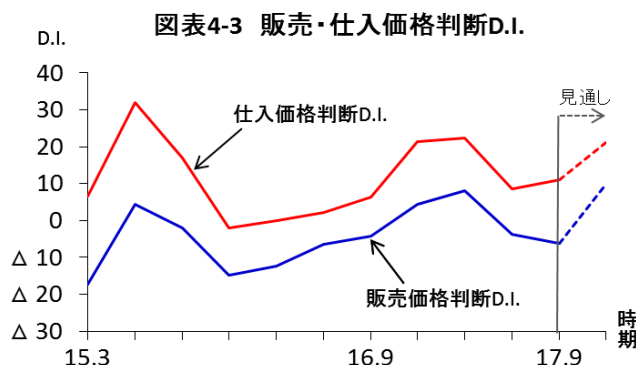
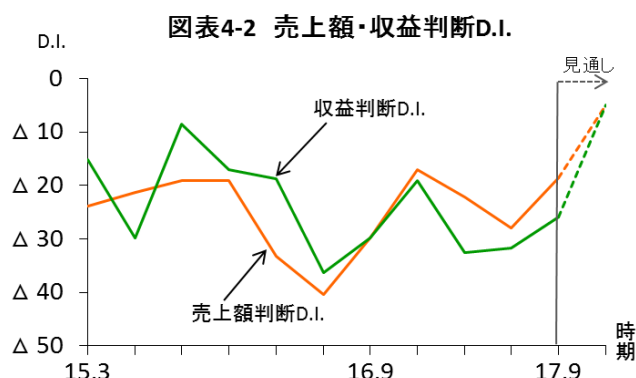
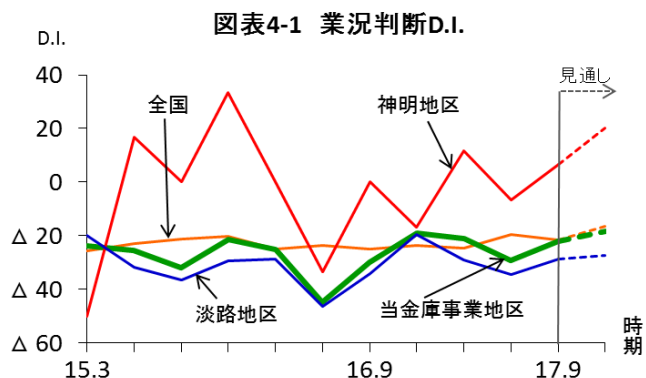
仕入価格が上昇しているが販売価格に転嫁できる状況ではない。内製化に取組み利益率の改善を見込む。(神戸市)

～業況は 7.1 ポイント改善するも  
 △22.2 の状況。今後も改善傾向にはある  
 が厳しい状況は続く～

- ・業況は前期比 7.1 ポイント改善するも依然△22.2 の状況にあるが来期も今期実績比 3.7 ポイント改善する見通しである。地区別では神明で6.7と13.4 ポイント改善しプラスに転じた。来期はさらに上昇し 20.0 となる見通しである。淡路では△28.8 と依然厳しい業況にはあるものの前期比 5.5 ポイント改善した。来期もやや改善する見通しである。(図表 4-1)
- ・売上額(前期比)は前期比 9.5 ポイント改善するも△18.5、収益(前期比)についても同 5.8 ポイント改善するも依然△25.9 と厳しい状況が続いている。(図表 4-2)
- ・仕入価格が 11.1 と前期比 2.6 ポイント上昇したのに対し、販売価格は△6.2 と同 2.5 ポイント低下しており収益性においても厳しい状況が続いている。(図表 4-3)
- ・人手不足も△22.2 と前期比 1.0 ポイントの改善にとどまっている。(図表 4-4)
- ・資金繰り判断については前期比 1.2 ポイント改善するも△8.6 と、依然苦しい企業が多い。(図表 4-4)

小売業 (D.I.)

	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	-29.3	-22.2	-18.5
売上額(前期比)	-28.0	-18.5	-4.9
売上額(前年同期比)	-28.0	-13.6	
収益(前期比)	-31.7	-25.9	-4.9
収益(前年同期比)	-37.8	-18.5	
販売価格(前期比)	-3.7	-6.2	9.9
仕入価格(前期比)	8.5	11.1	21.0
人手過不足(過剰-不足)	-23.2	-22.2	-23.8
資金繰り(楽-苦)	-9.8	-8.6	-6.2
設備投資実施企業割合(%)	22.8	28.0	21.3



○お客様の声

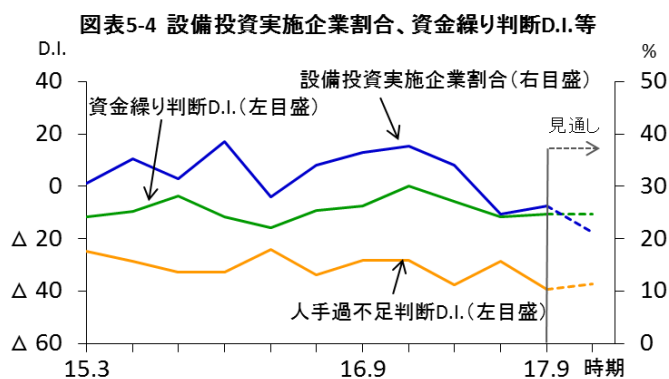
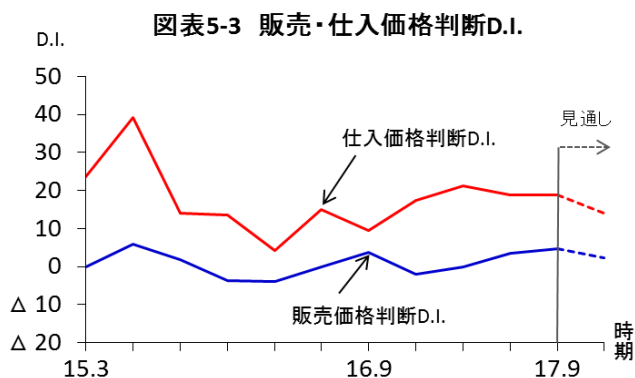
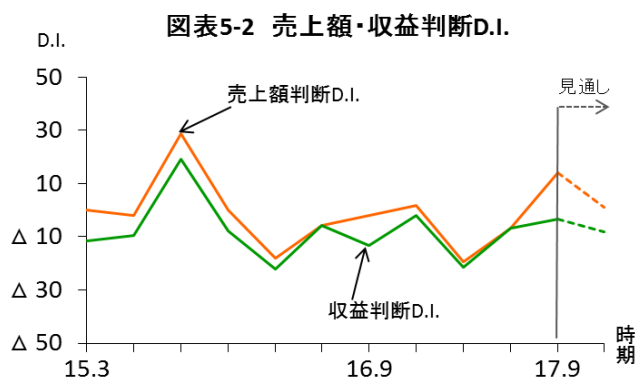
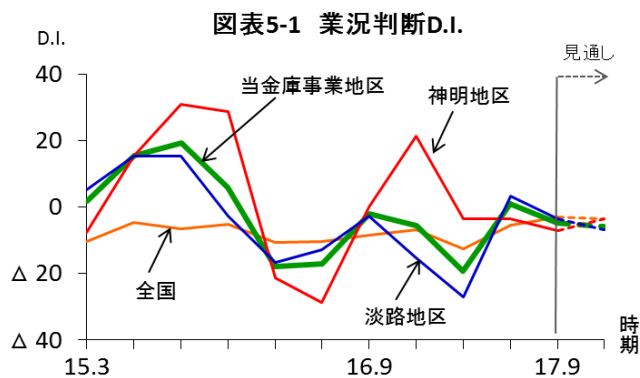
全体の売上は低調ながらネット販売は好調で8割程度を占めている。最近ではフェイスブックを活用し売上に繋げている。(洲本市)

元請けからのマージン比率が改善したことで収益面は良好である。電気自動車の開発等、今後ガソリン車の減少が予想されるためスタンド経営以外の分野での参入も視野に入れている。(神戸市)

～前期プラスとなった業況は再びマイナスに。売上・収益は改善傾向にあるも人手不足は全業種の中で最も厳しい～

- ・業況は大幅改善しプラスとなった前期から 5.8 ポイント低下し、再び△4.7 とマイナスに戻った。来期もさらに 1.1 ポイント低下する見通しである。(図表 5-1)
- ・売上額(前期比)は 14.0 と前期比 20 ポイント超改善した。収益(前期比)も 3.4 ポイント改善はしたが、未だ△3.5 とマイナスの状況にある。(図表 5-2)
- ・仕入価格が横ばいで推移するなか販売価格の「上昇」が 1.3 ポイント増加したが、依然として仕入価格「上昇」が販売価格「上昇」を 14.1 ポイント上回っており、それが収益減少につながっている。(図表 5-3)
- ・人手不足は△39.5 と前期比 10 ポイント超低下し、調査開始(15年3月期)以来最も厳しい水準となった。(図表 5-4)
- ・資金繰り判断は△10.5 と前期比 1.0 ポイント改善するも依然資金繰りを「苦しい」とする企業の割合が多い。(図表 5-4)

サービス業	(D.I.)		
	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	1.1	-4.7	-5.8
売上額(前期比)	-6.9	14.0	1.2
売上額(前年同期比)	-4.7	3.5	
収益(前期比)	-6.9	-3.5	-8.1
収益(前年同期比)	-8.1	-5.8	
販売価格(前期比)	3.4	4.7	2.3
仕入価格(前期比)	18.8	18.8	14.1
人手過不足(過剰-不足)	-28.7	-39.5	-37.2
資金繰り(楽-苦)	-11.5	-10.5	-10.5
設備投資実施企業割合(%)	24.7	26.2	21.2



○お客様の声

明石海峡大橋の通行料値下げも4年目に入り淡路島への観光客も年々増加している。洲本港と関西国際空港をつなぐ航路再開によりインバウンド効果を期待している。(洲本市)

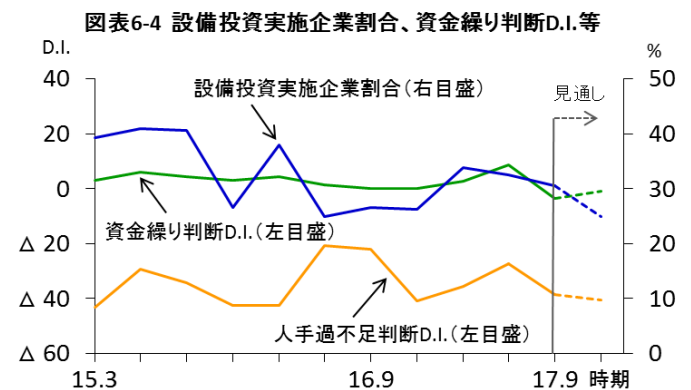
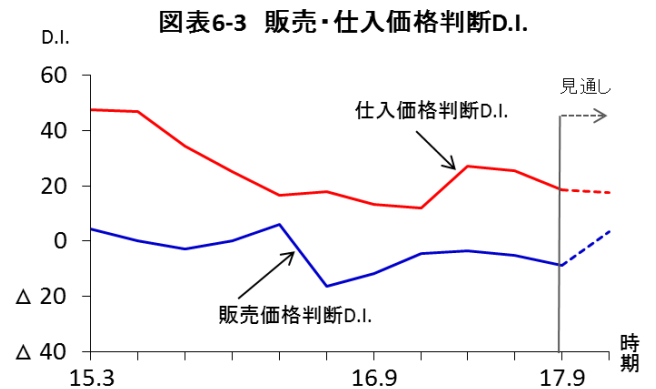
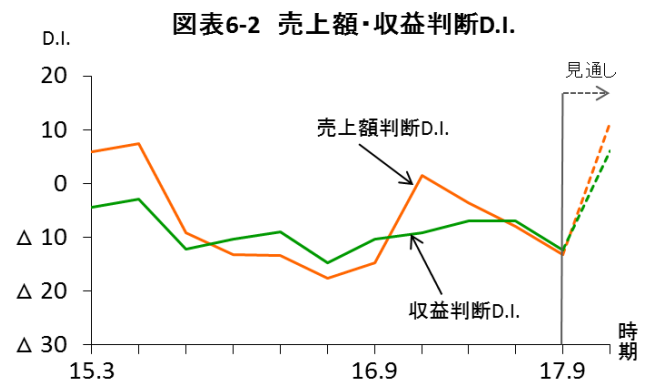
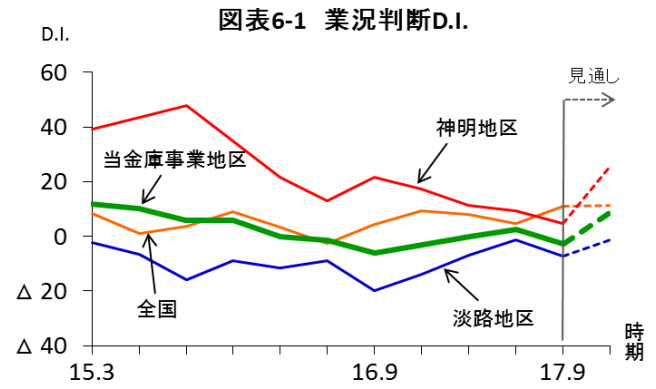
経営に関する様々な助成金・補助金の中から、自社の経営方針に合ったものを選択し活用していきたい。(神戸市)



～業況は再びマイナスに転じたが来期はプラスになる見通し。収益性、人手不足の厳しさが際立っている～

- ・業況は、1年半ぶりにプラスとなった前回から5.4ポイント低下し、再びマイナスに転じた。なお来期は10ポイント超改善しプラスとなる見通し。地区別では両地区とも低下したが、神明は4.7と依然プラスを維持しており、来期も20ポイント超改善の見通しである。(図表6-1)
- ・売上額(前期比)は△13.2と前期比5.3ポイント低下、収益(前期比)は△12.3と同5.3ポイント低下した。(図表6-2)
- ・仕入価格は18.4と同7.0ポイント低下したが、販売価格も△8.8と前期比3.5ポイント低下しており依然として収益性は厳しい状況である。(図表6-3)
- ・人手不足は△38.6と前期比10ポイント超落ち込み一段と深刻になった。(図表6-4)
- ・資金繰り判断は△3.5と「苦」が「楽」を上回りマイナスに転じた。(図表6-4)
- ・設備投資実施企業割合は30.6%と前期比1.9ポイント低下した。(図表6-4)

建設業	(D.I.)		
	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	2.7	-2.7	8.8
売上額(前期比)	-7.9	-13.2	11.4
売上額(前年同期比)	-6.1	-7.9	
収益(前期比)	-7.0	-12.3	6.1
収益(前年同期比)	-8.8	-6.1	
販売価格(前期比)	-5.3	-8.8	3.5
仕入価格(前期比)	25.4	18.4	17.5
人手過不足(過剰-不足)	-27.2	-38.6	-40.4
資金繰り(楽-苦)	8.8	-3.5	-0.9
設備投資実施企業割合(%)	32.5	30.6	25.0



○お客様の声

島内工事は減少しているが、島外工事は安定的にあり売上を維持している状況。採算を意識した受注を心掛けている。(南あわじ市)

現況、新築受注の獲得ができておらず売上は低調であったが、29/7期以降回復傾向にある。原材料費、外注費の増加から利幅縮小しており、仕入の見直し、外注先の選別等が必要である。(明石市)

～業況は一服 淡路の落ち込みが大きい～

・業況は2.6と前期比10.2ポイント低下した。来期もさらに2.6ポイント低下し0.0となる見通しである。特に淡路での落ち込みが大きく、前期より20ポイント超低下しマイナスに転じた。神明は好調を維持し15.0と前期比5ポイント上昇した。

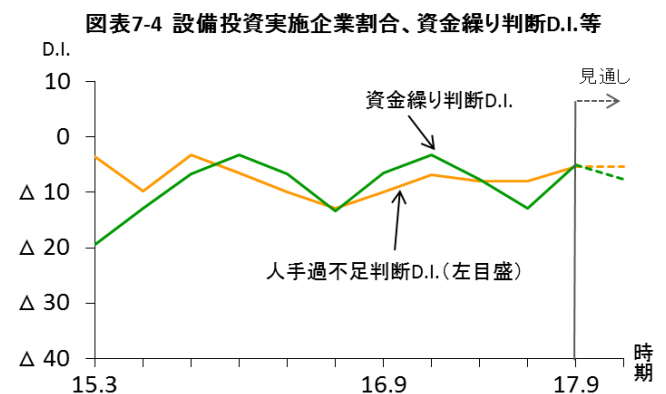
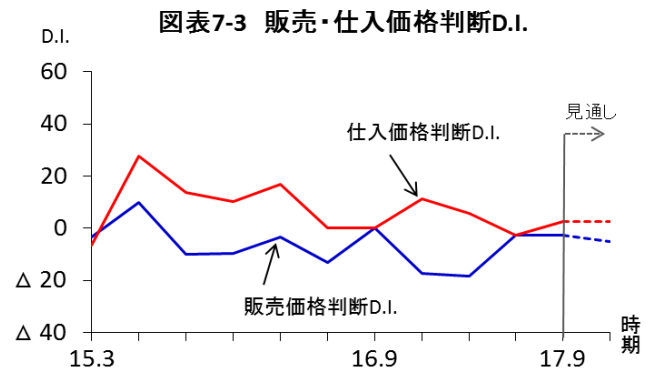
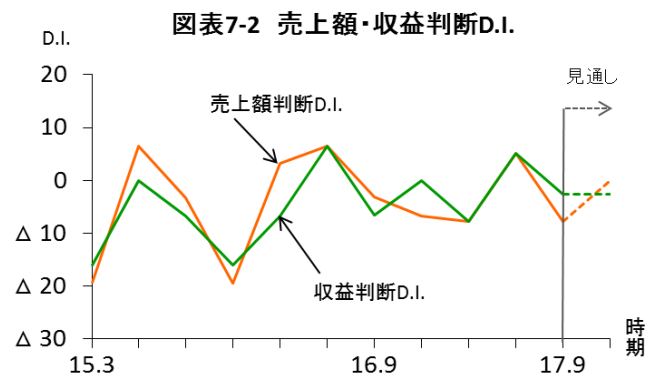
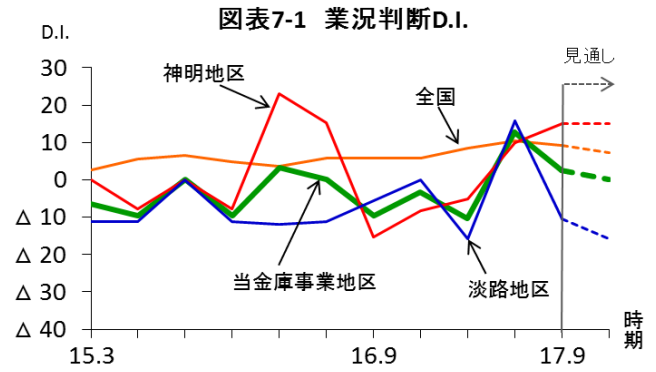
(図表 7-1)

・売上額(前期比)は△7.7と前期比12.8ポイント低下、収益(前期比)も△2.6と同7.7ポイント低下した。(図表 7-2)

・販売価格は△2.6と横ばいで推移したものの仕入価格は2.6と前期比5.4ポイント上昇しており、利幅は縮まった。(図表 7-3)

・人手不足は△5.3と前期比2.6ポイント改善し、幾分和らいだ。(図表 7-4)

・資金繰り判断は△5.1と前期比7.7ポイント改善した。(図表 7-4)



不動産業 (D.I.)

	2017年 4～6月 (前期)	2017年 7～9月 (今期)	2017年 10～12月 (見通し)
業況	12.8	2.6	0.0
売上額(前期比)	5.1	-7.7	0.0
売上額(前年同期比)	17.9	2.6	
収益(前期比)	5.1	-2.6	-2.6
収益(前年同期比)	15.4	-7.7	
販売価格(前期比)	-2.6	-2.6	-5.3
仕入価格(前期比)	-2.8	2.6	2.6
人手過不足(過剰-不足)	-7.9	-5.3	-5.3
資金繰り(楽-苦)	-12.8	-5.1	-7.7

○お客様の声

人口減少による地方都市のコンパクトシティ化が進んでいくと考えている。地域コミュニティの役員を務めるなど積極的に地域活動に参加している。(淡路市)

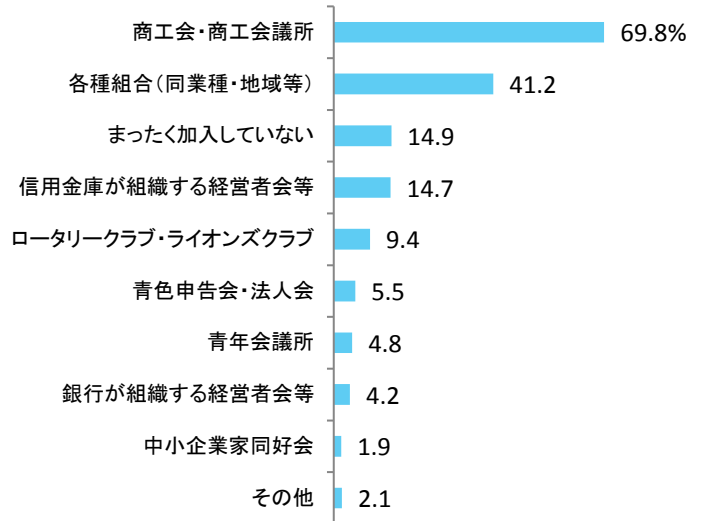
商品土地が不足しており、情報の収集に力を入れている。パワービルダー等の同業者との競合が激しくなっている。(明石市)

問1 貴社では、以下に列挙する団体等に参加していますか

～商工会・商工会議所への加入が7割～

団体等への加入割合は、「商工会・商工会議所」が約7割と最も高く、以下、各種組合（同業種・地域等）が41.2%、「まったく加入していない」が14.9%、淡信実業クラブのような「信用金庫が組織する経営者会等」が14.7%と続いた。

規模別にみると従業員が多くなるにつれて商工会や各種組合に参加している割合が高い。業種別にみても商工会に参加している割合が高いが、不動産業においては「各種組合」と「まったく加入していない」の高さが目立った。



(単位:%)

		商工会・商工会議所	各種組合(同業種・地域等)	青色申告会・法人会	中小企業家同好会	青年会議所	ロータリー・ライオンズ	信用金庫が組織する経営者会等	銀行が組織する経営者会等	その他	まったく加入していない
全体		69.8	41.2	5.5	1.9	4.8	9.4	14.7	4.2	2.1	14.9
地区別	淡路地区	81.7	42.1	7.9	2.4	4.9	12.2	12.2	3.0	2.4	7.9
	神明地区	50.0	39.8	1.5	1.0	4.6	4.6	18.9	6.1	1.5	26.5
規模別	1～4人	65.0	36.9	8.4	1.5	2.0	6.9	5.4	1.0	2.0	20.7
	5～9人	69.5	41.4	5.5	0.8	5.5	6.3	10.9	1.6	2.3	17.2
	10～19人	72.8	43.5	2.2	1.1	7.6	7.6	28.3	5.4	3.3	5.4
	20～29人	76.5	41.2	0.0	2.9	5.9	20.6	20.6	8.8	0.0	11.8
	30～39人	83.3	54.2	4.2	0.0	4.2	12.5	33.3	8.3	0.0	8.3
	40～49人	100.0	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1	11.1	0.0
	50～99人	76.5	35.3	0.0	11.8	5.9	29.4	23.5	23.5	0.0	11.8
	100～199人	66.7	33.3	0.0	16.7	50.0	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0
200～299人	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
300人～	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	72.1	34.1	3.1	3.1	3.9	9.3	21.7	7.0	0.0	13.2
	卸売業	74.7	41.3	1.3	2.7	2.7	6.7	10.7	1.3	5.3	14.7
	小売業	80.2	46.9	14.8	0.0	2.5	9.9	14.8	4.9	3.7	7.4
	サービス業	66.3	31.4	4.7	2.3	4.7	7.0	11.6	4.7	1.2	22.1
	建設業	71.1	53.5	5.3	1.8	9.6	12.3	13.2	2.6	1.8	9.6
不動産業	35.9	38.5	5.1	0.0	2.6	10.3	10.3	2.6	2.6	35.9	

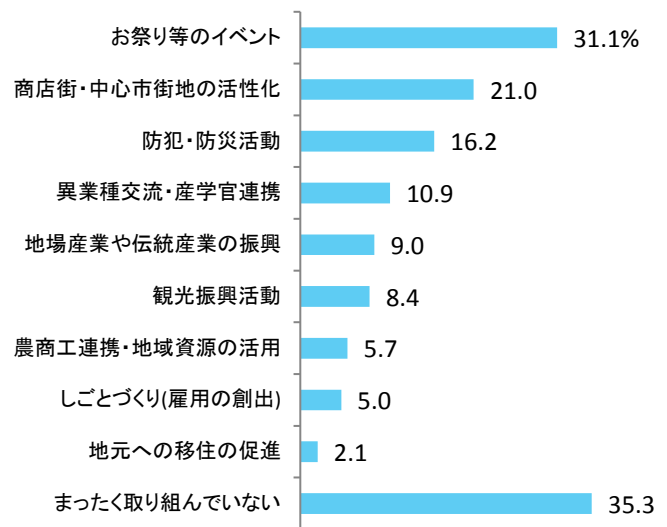
(備考)最大3つまで複数回答

## 問2 貴社が地域経済との関わりのなかで取り組んでいる地域での活動は

### ～淡路と神明の特色の違いが顕著に～

地域での活動について、淡路地区では「お祭り等のイベント（38.7%）」への関わりが最も高いのに比べ、神明地区では「まったく取り組んでいない（53.6%）」との回答が過半数に上った。さらに「観光振興活動」において観光資源が豊富な淡路が12.8%と神明の1.0%を大きく上回るなど、地域の特徴が最も顕著に現れた。

業種柄、小売業で「商店街・中心市街地の活性化（42.0%）」への関わりが最も高く、建設業では「お祭り等のイベント（36.8%）」への関わりが最も高かった。



(単位:%)

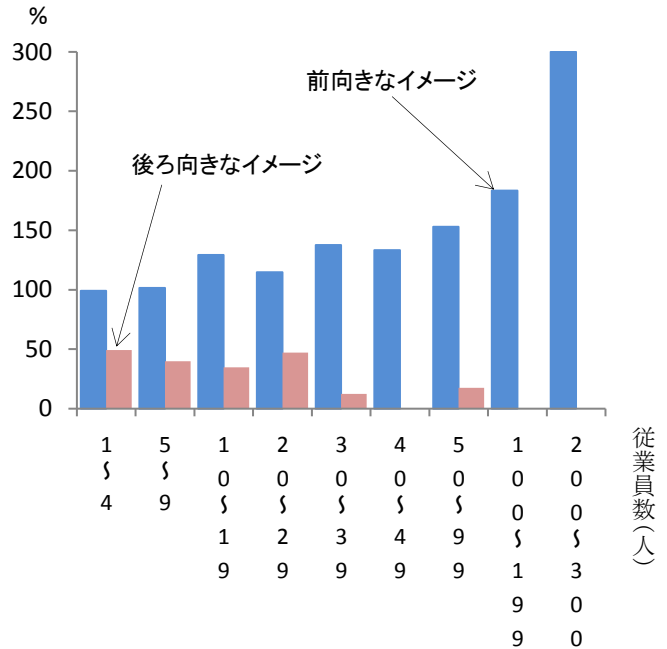
		商店街・中心市街地の活性化	異業種交流・産学官連携	観光振興活動	農商工連携・地域資源の活用	地場産業や伝統産業の振興	しごとづくり(雇用の創出)	地元への移住の促進	防犯・防災活動	お祭り等のイベント	まったく取り組んでいない
全体		21.0	10.9	8.4	5.7	9.0	5.0	2.1	16.2	31.1	35.3
地区別	淡路地区	25.9	9.1	12.8	7.9	12.2	6.1	3.4	19.2	38.7	24.4
	神明地区	12.8	13.8	1.0	2.0	3.6	3.1	0.0	11.2	18.4	53.6
規模別	1～4人	24.6	4.9	6.9	2.5	7.9	1.5	2.5	15.3	31.5	39.9
	5～9人	19.5	13.3	8.6	6.3	7.0	4.7	2.3	13.3	27.3	39.1
	10～19人	16.3	13.0	6.5	7.6	7.6	9.8	2.2	13.0	34.8	30.4
	20～29人	14.7	20.6	8.8	5.9	14.7	2.9	2.9	29.4	32.4	29.4
	30～39人	25.0	20.8	8.3	0.0	20.8	12.5	0.0	16.7	25.0	25.0
	40～49人	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	44.4	55.6	11.1
	50～99人	17.6	11.8	17.6	23.5	5.9	11.8	0.0	23.5	35.3	29.4
	100～199人	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0
	200～299人	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
300人～	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	13.2	13.2	4.7	7.8	20.2	7.8	0.0	9.3	24.8	35.7
	卸売業	22.7	0.0	6.7	8.0	6.7	5.3	1.3	9.3	28.0	41.3
	小売業	42.0	7.4	7.4	8.6	2.5	4.9	0.0	16.0	33.3	27.2
	サービス業	17.4	11.6	18.6	3.5	8.1	4.7	1.2	12.8	36.0	37.2
	建設業	16.7	14.9	5.3	0.9	5.3	3.5	2.6	31.6	36.8	32.5
	不動産業	20.5	2.6	12.8	7.7	2.6	0.0	15.4	15.4	25.6	43.6

(備考)最大3つまで複数回答

### 問3 問2で挙げたような活動への参加に対して持っているイメージは

#### ～従業員規模に応じて持っているイメージに変化～

各種地域活動への参加に対するイメージについて、「地域企業としての責任を果たせる」が36.3%、「地域内でネットワークを築ける」が31.1%と前向きなイメージを回答する企業が多く、従業員の規模が大きくなるにつれてその割合は高まる傾向が見られた。一方、「時間の余裕がない」が18.5%、「人手の負担がある」が7.6%と後ろ向きなイメージを回答する企業も一定数存在し、規模が小さくなるにつれてその割合は高まる傾向が見られた。「そもそも参加に意義を感じられない」との回答も10.5%あった。



(単位: %)

	前向きなイメージ					後ろ向きなイメージ				そもそも参加に意義を感じられない
	自社の業績向上につながる	自社の評判が高まる	従業員の意欲が高まる	地域企業としての責任を果たせる	地域内でネットワークが築ける	周囲との付き合いが負担	資金面での負担がある	人手の負担がある	時間の余裕がない	
全体	18.1	22.3	4.6	36.3	31.1	5.0	2.9	7.6	18.5	10.5
地区別										
淡路地区	21.6	23.5	4.3	45.4	33.5	4.9	3.4	6.7	17.4	6.7
神明地区	12.2	20.4	5.1	20.9	27.0	5.1	2.0	9.2	20.4	16.8
規模別										
1 ~ 4人	16.3	20.2	1.0	31.0	30.5	5.9	3.4	10.8	24.1	10.8
5 ~ 9人	15.6	18.0	3.9	33.6	30.5	4.7	2.3	6.3	19.5	11.7
10 ~ 19人	21.7	28.3	4.3	40.2	34.8	3.3	1.1	4.3	16.3	13.0
20 ~ 29人	20.6	17.6	11.8	41.2	23.5	0.0	11.8	11.8	14.7	8.8
30 ~ 39人	20.8	25.0	4.2	54.2	33.3	4.2	0.0	0.0	8.3	4.2
40 ~ 49人	22.2	22.2	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
50 ~ 99人	17.6	41.2	17.6	47.1	29.4	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9
100 ~ 199人	33.3	50.0	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
200 ~ 299人	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
300人~	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別										
製造業	20.2	23.3	6.2	31.0	27.1	5.4	1.6	7.8	20.2	0.0
卸売業	14.7	24.0	6.7	36.0	26.7	6.7	2.7	8.0	20.0	16.0
小売業	24.7	19.8	4.9	37.0	37.0	4.9	6.2	9.9	13.6	8.6
サービス業	16.3	15.1	2.3	34.9	31.4	7.0	4.7	5.8	20.9	12.8
建設業	15.8	24.6	2.6	43.9	32.5	1.8	1.8	6.1	19.3	8.8
不動産業	15.4	30.8	5.1	33.3	35.9	5.1	0.0	10.3	12.8	10.3

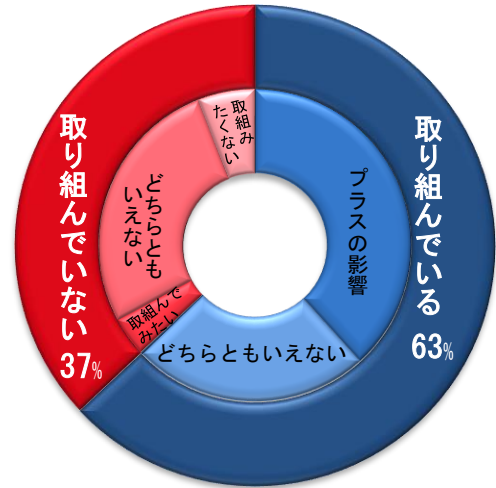
(備考)最大3つまで複数回答

## 問4 問2の活動が自社の経営、事業に及ぼしている影響は

～取り組んでいる企業の多くは経営にプラスの影響と回答～

各種地域活動に取り組んでいる企業は63.0%で、そのうちの6割以上が事業にプラスの影響を及ぼしていると答えている。

一方で、活動に取り組んでいない企業は37.0%あり、そのうち7割以上が今後取り組みたいかどうかについても「どちらともいえない」と答えており、未だ関心が向かっていない様子が見えがえる。



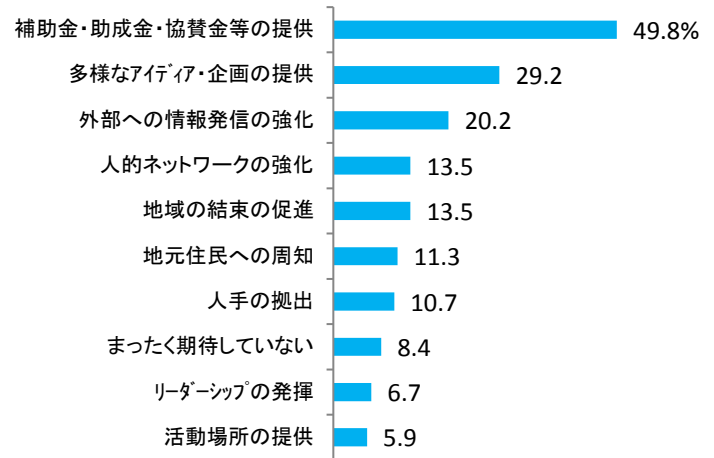
(単位:%)

	取り組んでいる						取り組んでいない				
	プラスの影響	どちらかといえばプラスの影響	どちらともいえない	どちらかといえばマイナスの影響	マイナスの影響	取り組んでみたい	どちらともいえない	取り組まない	取り組んでみたい		
全体	63.0	11.7	26.6	24.5	0.2	0.0	37.0	4.1	27.0	5.9	
地区別	淡路地区	73.5	12.8	38.5	24.1	0.3	0.0	26.5	17.6	17.4	3.1
	神明地区	45.3	10.0	17.9	17.4	0.0	0.0	54.7	3.2	40.5	11.1
規模別	1～4人	57.9	8.6	23.4	25.4	0.5	0.0	42.1	6.1	28.9	7.1
	5～9人	57.6	10.4	24.8	22.4	0.0	0.0	42.4	4.8	31.2	6.4
	10～19人	68.1	15.4	28.6	24.2	0.0	0.0	31.9	3.3	22.0	6.6
	20～29人	70.6	11.8	20.6	38.2	0.0	0.0	29.4	0.0	26.5	2.9
	30～39人	75.0	20.8	33.3	20.8	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	40～49人	88.9	0.0	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
	50～99人	64.7	11.8	41.2	11.8	0.0	0.0	35.3	0.0	29.4	5.9
	100～199人	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	200～299人	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
300人～	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	62.7	7.9	28.6	26.2	0.0	0.0	37.3	4.0	29.4	4.0
	卸売業	54.1	13.5	21.6	18.9	0.0	0.0	45.9	5.4	25.7	14.9
	小売業	74.7	14.7	34.7	24.0	1.3	0.0	25.3	2.7	18.7	4.0
	サービス業	59.5	9.5	23.8	26.2	0.0	0.0	40.5	4.8	28.6	7.1
	建設業	65.5	16.8	24.8	23.9	0.0	0.0	34.5	5.3	26.5	2.7
不動産業	59.0	5.1	25.6	28.2	0.0	0.0	41.0	0.0	35.9	5.1	

## 問5 地域活動活発化のために地元自治体や地域金融機関に期待すること

### ～半数が補助金等の提供に期待～

地域での各種活動がさらに活発化していくために、地元自治体や地域金融機関に期待することについて、「補助金・助成金・協賛金等の提供」が49.8%と最も高く、以下、「多様なアイデア・企画の提供」が29.2%、「外部への情報発信の強化」が20.2%、「人的ネットワークの強化」「地域の結束の促進」が13.5%と続いた。



(単位:%)

		補助金・助成金・協賛金等の提供	活動場所の提供	地域の結束の促進	リーダーシップの発揮	地元住民への周知	人的ネットワークの強化	外部への情報発信の強化	多様なアイデア・企画の提供	まったく期待していない	
全体		10.7	49.8	5.9	13.5	6.7	11.3	13.5	20.2	29.2	8.4
地区別	淡路地区	12.8	51.5	6.4	15.9	8.5	11.6	11.9	22.6	32.6	5.5
	神明地区	7.1	46.9	5.1	9.7	3.6	10.7	16.3	16.3	23.5	13.3
規模別	1～4人	5.9	42.9	3.9	16.3	5.9	12.3	10.8	21.2	28.1	10.8
	5～9人	10.9	55.5	7.0	7.0	6.3	13.3	14.8	21.1	29.7	7.0
	10～19人	14.1	51.1	8.7	13.0	7.6	12.0	17.4	14.1	34.8	8.7
	20～29人	14.7	58.8	2.9	17.6	8.8	5.9	17.6	11.8	29.4	2.9
	30～39人	12.5	62.5	4.2	12.5	8.3	0.0	8.3	16.7	20.8	8.3
	40～49人	11.1	44.4	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	55.6	33.3	11.1
	50～99人	35.3	29.4	5.9	23.5	5.9	5.9	29.4	35.3	11.8	5.9
	100～199人	0.0	66.7	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0
	200～299人	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
300人～	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	10.1	62.8	6.2	10.1	6.2	6.2	13.2	23.3	26.4	6.2
	卸売業	13.3	42.7	4.0	14.7	9.3	13.3	14.7	25.3	37.3	10.7
	小売業	9.9	54.3	2.5	16.0	7.4	16.0	13.6	13.6	35.8	6.2
	サービス業	11.6	48.8	9.3	12.8	4.7	7.0	19.8	14.0	26.7	9.3
	建設業	12.3	40.4	5.3	14.0	7.9	14.0	9.6	23.7	26.3	7.0
	不動産業	2.6	41.0	10.3	17.9	2.6	15.4	10.3	17.9	23.1	17.9

(備考)最大3つまで複数回答

## 日銀短観との比較

日銀が10月2日に発表した9月の「全国企業短期経済観測調査（短観）」と「わたしたちのマチの景況レポート」を比較してみました。

短観と比較して景況レポートは地元中小企業を中心に調査しているため、地域の実態がより強く反映されています。短観とともに地元経済の動向把握に活用いただけると幸いです。

### 業況判断D.I.の推移（6月→9月）

	日銀短観 中小企業		日銀短観 神戸支店 中小企業		わたしたちのマチの 景況レポート	
製造業	7 → 10	10年ぶりの高水準 再開発や五輪需要 で鉄鋼好調	9 → 11	国内外の景気改善 を受けて鉄鋼や非 鉄金属、生産用機 械等が伸びる	-11.7→0.0	大幅改善 2016年3月につ ぐ水準
非製造業	7 → 8	3年半ぶりの高水 準 小売など堅調だが 人手不足が深刻化	10 → 5	公共工事が減った 建設や仕入価格が 上昇した卸売で悪 化	-5.3→-8.1	卸売・小売で低 調な状況が続く 神明の不動産業 が好調を維持
全産業	7 → 9	製造業だけでなく、 内外需とも裾野の 広いバランスのと れた回復	10 → 9	1ポイント下落 6四半期ぶり	-6.9→-6.1	小幅改善 人手不足はさら に深刻化

連絡・問い合わせ先  
淡路信用金庫 業務部  
担当：柏木、眞野  
TEL：0799-22-1020





## かわら版



### ○「御食国・和食の祭典 i n 淡路島」が開催されます

古代、朝廷に食材を納めていた「御食国（みけつくに）」である淡路・若狭・志摩と、その食材を使って和食文化を発展させてきた京都の4地域が連携する和食のPRイベント「御食国・和食の祭典 i n 淡路島」が11月18、19日の2日間、兵庫県洲本市で開催されます。

日時：平成29年11月18日（土）19日（日）

11時00分～16時30分

場所：洲本市文化体育館（洲本市塩屋1-1-17）



### ○淡路市が「地方版IoT推進ラボ」として選定されました

淡路市が、兵庫県では神戸市に続いて2例目となる「地方版IoT推進ラボ」に選定されました。

「地方版IoT推進ラボ」とは、経済産業省が新たなIoTビジネスモデルの創出やIoTプラットフォームの発掘・育成を図り、新たな成長の原動力にしていいため、ロゴマークの使用権付与、地域のプロジェクト・企業等の実現・発展に資

するメンターの派遣等の支援を行うものです。

今後、IoTを通じて企業の生産性向上を図り、人手不足の解消等が期待できます。

淡路市の企業様でIoT導入をお考えの方は、最寄りの当金庫営業店を通じて総合企画部までお問い合わせください。IoT推進ラボにお繋ぎします。

### ○「洲本川レガッタ」に出場しました

平成29年9月10日、洲本川レガッタが開催され、当金庫から2チーム10名が参加しました。

本大会は、平成16年の台風23号災害による改修工事の完了を記念するとともにボート競技の魅力を広く知ってもらおうと平成23年から毎年開催されており、今回で7回目になります。

参加者たちは互いに息を合わせながら

オールを動かし気持ちの良い汗を流していました。

